




このたびは運搬車をお買いあげいただき 誠にありがとうございます。

●はじめに

この取扱説明書は機械の正しい取扱いかと簡単なお手入れおよび守っていただきたい安全に関する事項について説明しています。

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき安全で快適な作業をしてください。

- ・お読みになった後も身近な所に保管しいつでも読めるようにしてください。
- ・また、この機械を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を機械といっしょにお渡しください。
- ・本書では、安全上重要な事項を(⚠)で示し、次のように表示しています。必ず守ってください。

	その警告に従わなかった場合は、死亡または重傷を負うことになるものを示します。
	その警告に従わなかった場合は、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。
	その警告に従わなかった場合は、ケガを負うおそれのあるものを示します。

- ・なお、この機械の品質・性能向上あるいは安全のために、使用部品を変更することがあります。その際には本書の内容およびイラスト、写真などの一部が、機械と一致しない場合がありますのでご了承ください。

●機械の使用目的について

- ・機械は、運搬作業にご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは行わないでください。
- ・機械を使用目的以外の作業に使用したり、改造したりした場合は保証の対象となりません。(詳細は保証書をご覧ください。)

こんなとき, こんなことが知りたいとき, ここを見てください!

この取扱説明書は, 次のように構成されています。まず, **安全作業のために** からお読みいただき, 基本事項から操作, 点検まで機械の正しい取扱い方を理解してください。

安全作業のために 安全な作業をするための注意事項は?

安全な作業をしていただくために, 安全に関する基本事項, 表示ラベル (危険ラベル・警告ラベル・注意ラベル) について説明しています。よく読んで必ず守ってください。

ご使用前に 使用前に知っておかなければならないことは?

機械の保証とサービス, 仕様 (装備), 用語などについて説明しています。

各部のはたらき 各部のはたらきを知るには?

各部の主な名称, 運転装置の取扱いを説明しています。

運転のしかた 運搬車を動かすには?

運転前の点検: 作業前の点検項目と内容について説明しています。必ず実施してください。
運転操作のしかた: モータの始動, 走行のしかた, 自動車への積込み・積降ろしのしかたなどを説明しています。

手入れのしかた 機械を長もちさせるには?

機械をいつも正常な状態に保つために, 手入れのしかたについて説明しています。

不調時の処置 故障かなと思ったときは?

作業中のトラブルや不調, 異常を感じたときはすぐ原因を調べ処置してください。

付 表 諸元・関連部品は?

機械に係る諸元表, 消耗部品などを一覧表で説明しています。

も く じ

安全作業のために ……(安全作業説明編)

ご使用前に …… 1

1. 保証とサービスについて …… 1
2. 仕様（装備）について …… 2
3. 用語について …… 2

各部のはたらき …… 3

1. 各部の名称 …… 3
2. 運転装置の取扱い …… 4
 1. 運転レバー関係 …… 4

運転のしかた …… 5

1. 運転前の点検 …… 5
2. バッテリ残量計 …… 6
 1. 残量（%）表示について …… 6
3. 発進・旋回・停車のしかた …… 7
 1. 発進のしかた …… 7
 2. 旋回のしかた …… 7
 3. 停車のしかた …… 7
4. ハンドル …… 8
 1. ハンドルの高さ調整 …… 8
5. フロントガード …… 8
 1. フロントガードの高さ調整 …… 8
6. 自動車への積込み・積降ろし …… 9
 1. 機械の取扱い …… 9

手入れのしかた …… 10

1. 定期点検整備表 …… 10
2. クローラの点検と調整 …… 11
3. 駐車ブレーキの調整 …… 11
4. 給油・給脂箇所 …… 12
5. 電気配線の点検と掃除 …… 13
6. バッテリパックの充電と取扱い …… 13
7. バッテリパックの交換 …… 16
8. 長期格納のしかた …… 17
9. 長期格納後に使用するとき …… 17

不調時の処置 …… 18

1. 一覧表 …… 18
2. ヒューズの交換 …… 20

付 表 …… 21

1. 諸元 …… 21
2. 標準付属品一覧 …… 21
3. 消耗部品一覧 …… 22

(安全作業説明編)

安全作業のために

	ページ
1. 安全作業のしかた……………	(安-1)
⚠ 作業前に次のことを守りましょう！……………	(安-1)
⚠ 作業前の一般的な注意事項……………	(安-2)
⚠ 点検・整備および掃除をするときは……………	(安-4)
⚠ 機械を始動するときは……………	(安-5)
⚠ 自動車への積込み・積降ろしをするときは……………	(安-6)
⚠ 運搬作業をするときは……………	(安-7)
⚠ 洗車や機械を使用しないとき……………	(安-9)
⚠ バッテリーパックの取扱いについて必ず守ること……………	(安-9)
⚠ バッテリーパック充電と充電器の取扱いについて 必ず守ること……………	(安-9)
2. 表示ラベルについて……………	(安-11)

安全作業のために

1. 安全作業のしかた

- ・安全上の重要な事項を **⚠危険** **⚠警告** **⚠注意** の3段階に分類して説明していますので、よく読んで理解し安全作業に努めてください。
- ・なお、この項の安全作業の説明は**運搬車全般**についてのものです。これ以外にも本文の中でも同様に説明していますので、よく読んで必ず守ってください。

⚠作業前に次のことを守りましょう！

必ず守ってください

守らないとこんな事故が！



警告

◆このような人は運転しないでください。

- 酒気をおびた人
 - 妊娠している人
 - 16才未満の人
 - 指導者のいない運転未熟練者
 - 過労・病気・薬物の影響、その他の理由により、正常な運転操作ができない人
- ◆運転する人は健康に気をつけて適当な睡眠と休けいをとってください。

誤操作しやすく思わぬ事故を起こすことがあります。



警告

◆作業に合ったキチンとしたものを着用してください。

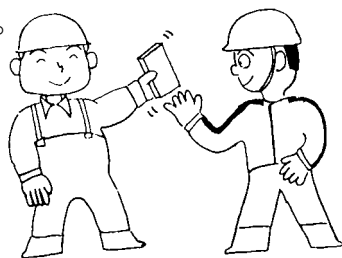


このような服装は衣服が回転部に巻込まれたり、足をスべらせたりして思わぬ事故を起こすことがあります。



警告

◆機械を他人に貸す場合は取扱説明書も合わせて貸して、安全な作業ができるよう説明してください。



借りた人が不慣れなため、思わぬ事故を引起こすことがあります。

⚠️ 作業前の一般的な注意事項

必ず守ってください

守らないとこんな事故が！

<p>⚠️ 警告 ◆機械は運搬作業にご使用ください。</p> <p>◆その他の目的では使用しないでください。</p>	<p>思わぬ事故を起こすことがあります。</p> 
<p>⚠️ 警告 ◆機械は改造しないでください。</p>	<p>改造すると機械の機能に悪影響を与えるだけでなく事故の原因になることがあります。</p> 
<p>⚠️ 警告 ◆運搬車を使用する前後に点検を行い、異常箇所は直ちに整備してください。</p>	<p>整備不良が原因で思わぬ事故を起こすことがあります。</p> 
<p>⚠️ 警告 ◆機械に人を乗せたり、人を近づけないでください。</p> <p>●運搬車の上に人を乗せない。子どもなど、人を近づけないでください。</p>	<p>思わぬ事故を起こす原因となります。</p> 

必ず守ってください

守らないとこんな事故が！



警告

◆最大積載量以上の荷物は乗せな
いでください。

- 荷物が荷台から落ちないようにロープを
かけてください。
- 傾斜地や路面状況が悪い所では積載量を減
らしてください。

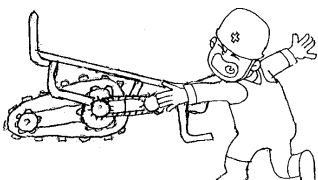
転倒などの思わぬ事故を引起こすことがあります。



⚠️ 点検・整備および掃除をするときは……

必ず守ってください

守らないとこんな事故が！

<p>⚠️ 警告 ◆点検・整備・掃除は、平坦な場所で電源スイッチを《切》にしてから行なってください。</p>	<p>機械が動きだし、思わぬ事故を起こします。</p> 
<p>⚠️ 警告 ◆各部のボルト・ナットのゆるみ、セットピンの脱落、損傷はないか確認してください。</p> <p>●クラッチ、レバー関係などの操作部は確実に働くように調整してください。</p>	<p>思わぬ事故を引起こす原因となります。</p> 
<p>⚠️ 警告 ◆モータや配線まわりにワラズやゴミなどが付着していないか作業前に点検し、付着していれば取除いてください。</p>	<p>火災事故を引起こすことがあります。</p> 
<p>⚠️ 注意 ◆点検・整備などで外したカバーなどは、全て取付けてください。</p> <p>●カバーは正しく取付けてください。</p>	<p>機械に巻き込まれたりして、傷害事故を引起こすことがあります。</p> 

⚠ 機械を始動するときは……

必ず守ってください

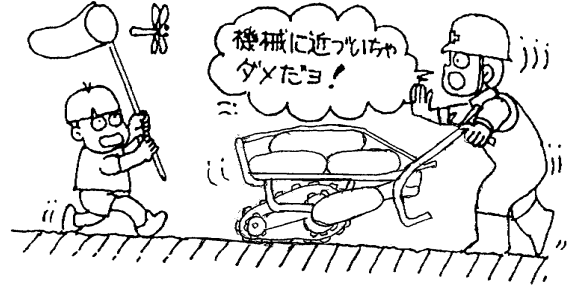
守らないとこんな事故が！



警告

◆始動する前に、周囲を確認し、機械の周囲から子どもなど、人を遠ざけてください。

子どもなど、人が近づくと、傷害事故を引起こすことがあります。

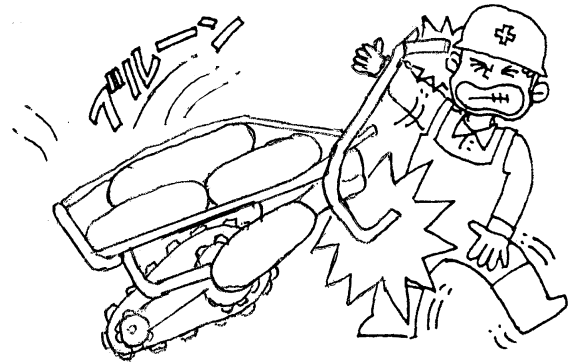


警告

◆始動は正しい姿勢で行なってください。

変速が入っていると機械が急に動き出し、人身事故や傷害事故の原因となることがあります。

- 変速レバーが《N》(中立) になっているか手で動かして確認してください。
- 周囲を確認し、合図してから始動してください。



⚠ 自動車への積込み・積降ろしをするときは……

必ず守ってください

守らないとこんな事故が！

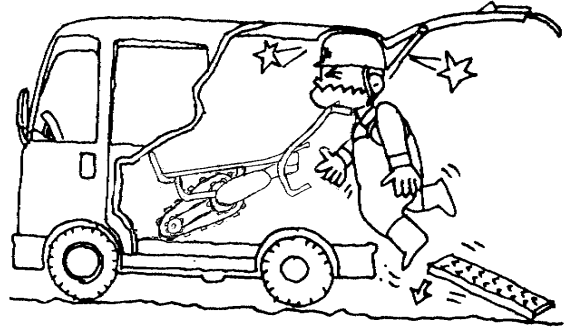


警告

◆自動車は荷台に天井の無い車を使用してください。

- 荷台から機械がはみ出さない自動車を使ってください。
- 自動車は変速を「後進」(AT車の場合は「パーキング」)に入れ、駐車ブレーキをかけてください。

思わぬ事故を引起こします。

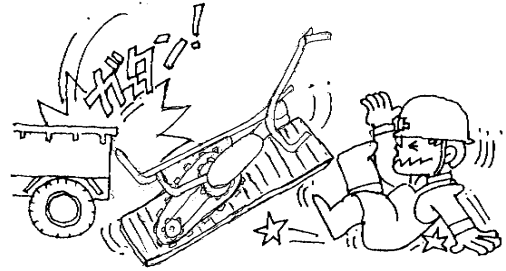


警告

◆道板は、強度、幅、長さ、すべり止め、フックのあるものを使用してください。

- 機械の重量に耐える強度のもの（金属製）を使用してください。
- 幅がクローラ幅以上で、長さが荷台高さの4倍以上あるすべり止め付、フック付のものを使用してください。

道板が外れたりして、転倒事故を起こすことがあります。

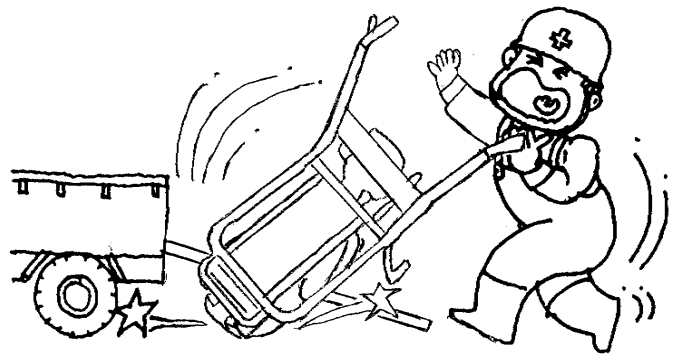


警告

◆道板を荷台に平行にかけてください。

- 道板は、荷台に対して真っ直ぐにかけてください。
- 荷台にかけた端が外れないように、フック付の道板を使用してください。
- 積込みは前進で行い、積降ろしは後進で行ってください。
- 空荷で行ってください。

バランスがくずれて、転倒事故を起こすことがあります。



⚠ 運搬作業をするときは……

必ず守ってください

守らないとこんな事故が！

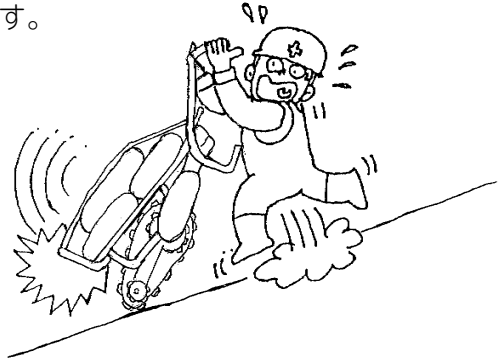


警告

◆傾斜地での運搬作業は前進で行ってください。

- 等高線作業（傾斜地の横歩き）は行わないでください。

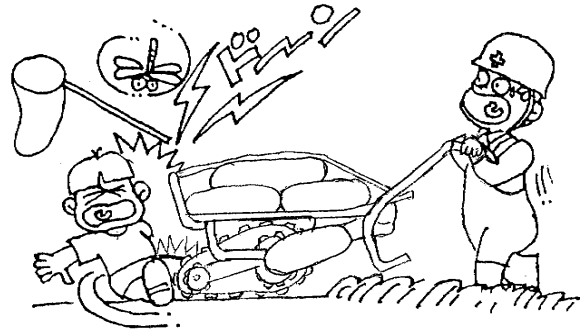
バランスをくずしたりして、転倒事故を引起こすことがあります。



警告

◆運搬中は、機械のそばに人を近づけないようにし、わき見運転や手ばなし運転をしないでください。

傷害事故の原因となります。



警告

◆下りの急傾斜地での運搬作業は後進で行ってください。

転倒事故を引起こす原因となります。



必ず守ってください

守らないとこんな事故が！



警告

◆作業途中で点検するときは、高温部に触れないでください。

- 点検、掃除は電源スイッチを《切》にし、高温部は冷えるまでは直接触れないでください。
- 取外したカバーは全て取付けてから作業を開始してください。

火傷することがあります。

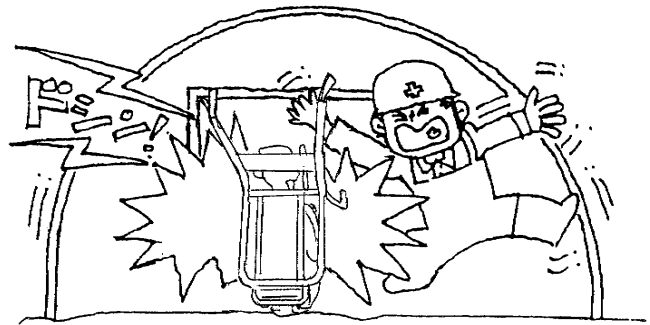


警告

◆ハウスや小屋の中で運搬作業するときは、背後や支柱際の障害物を確認しながら行なってください。

- 支柱やカモイに頭を打ったりハンドルを引っかけたりしないでください。

機械と支柱の間にはさまれたりして傷害事故を引起こすことがあります。



警告

◆後進するときは、ハンドルがはね上がらないようにしっかりと握ってください。

後進するときは、クローラの回転でハンドルがはね上がります。

⚠️ 洗車や機械を使用しないとき

- 洗車するときは、バッテリーパックを取り外して、コネクタケーブル、電源ボックス、貼付ラベルには水をかけないでください。高圧洗浄機は使用しないでください。
- 洗車したあとは、水分を拭き取ってください。
- 機械を使用しないときは、バッテリーコネクタをはずしてください。

⚠️ バッテリーパックの取扱いについて必ず守ること

- バッテリーパックを火中に投げ入れたり、加熱したり高温で使用したりしないでください。
- バッテリーパックを火やストーブの近く、炎天下の車中など高温になる場所に置かないでください。
- 直射日光のあたる場所に長時間放置しないでください。
- バッテリーパックは本製品以外には使用しないでください。
- 充電器は指定されたもの以外は使用しないでください。
- バッテリーパックを分解、修理したり改造しないでください。
- バッテリーパックに水をかけないでください。また、濡れたままで接続しないでください。
- バッテリーパックを落としたりなどして強い衝撃を与えたりケースが割れるなどした場合は、使用しないで、「お買いあげ先」に相談してください。
- バッテリーパックの取付け、取外しするときは、電源スイッチを《切》にしてください。また、濡れた手で作業しないでください。
- 異臭や変形など、今までと異なることに気がついたときは、使用しないで、「お買いあげ先」に相談してください。
- 不要になったバッテリーパックは一般のゴミと一

緒に捨てず「お買いあげ先」に相談してください。

⚠️ バッテリーパック充電と充電器の取扱いについて必ず守ること

- バッテリーパックの充電は指定の充電器を使用し、雨や直射日光のあたらない屋内の換気のよい場所で行なってください。
- 充電中はバッテリーパックや充電器を布等で覆わないでください。
- バッテリーパック、充電器は水で濡らさないでください。また、濡れた手や濡れた電源コードで充電しないでください。
- 充電器は指定のものを使用し、使用後は電源プラグを必ず抜き保管してください。
- 充電器は家庭用電源AC100Vにて使用してください。
- 充電器を分解、修理、改造をしないでください。
- 充電コードの取扱いについて下記を守ってください。
 - 束ねたり、丸めたままで充電しないでください。
 - 改造、加工をしないでください。
 - コードの上に重いものをのせた状態で使用しないでください。
 - 損傷しているものは使用しないでください。
 - たこ足配線はしないでください。
 - 濡れたままで使用しないでください。
- 本体や接続コードの接点部に金属類を差込まないでください。
(感電、発熱、発火の原因となる恐れがあります。)
- 安全のため、子どもの手の届かない所で使用、保管してください。
(感電、けがの原因となる恐れがあります。)
- 充電するときは、0～40℃の温度範囲で使用してください。
(この充電温度範囲以外では、電池の発熱、発火、破裂の原因となる恐れがあります。)

安全作業のために

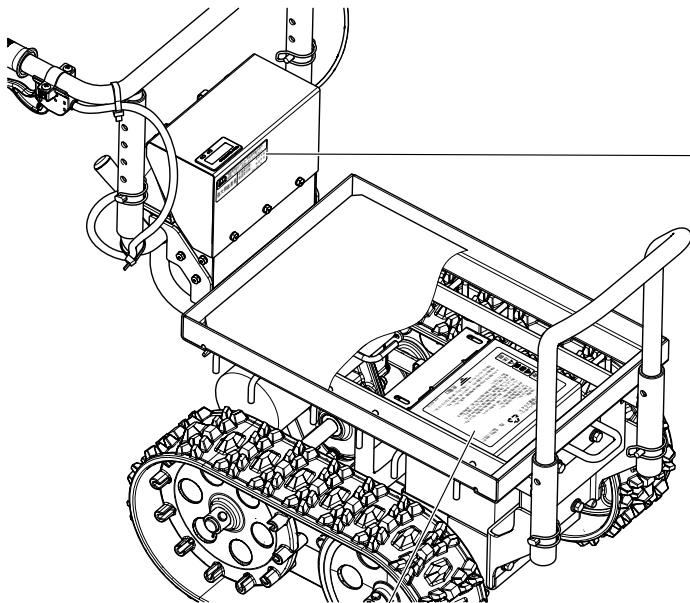
- 湿気やほこりの多い場所には置かないでください。
(感電, 発熱, 発火の原因となる恐れがあります。)
- 直射日光下や発熱体のそばなど, 高温の場所で使用したり, 保管しないでください。
(発熱, 発火, 破裂の原因となる恐れがあります。)
- 電源コードは, コードを引っ張らずに, 必ずプラグを持って抜いてください。
(電源コードが破損し発熱, 発火, 感電の原因となる恐れがあります。)
- 重いものをのせたり, 落下しやすいところに置かないでください。
(充電器の破損による, 発熱, 発火, 感電の原因となる恐れがあります。)

バッテリーパック充電と充電器の取扱いについて上記を守らないと,

- 装置の発熱, 発火, 破裂の原因となります。
- 火災, 感電, 火傷, けがの原因となります。

2. 表示ラベルについて

- ・この機械には各運転装置の近くに各々の安全な取扱い方について説明している表示ラベル（危険ラベル・警告ラベル・注意ラベル）が貼付けてあります。各々のラベルの説明をよくお読みいただき守ってください。
- ・また、機械に貼ってあるラベルが破損したりして読めなくなった場合やラベルの貼ってある部品を交換する場合は新しいラベルを「お買いあげ先」に注文して購入し貼り替えてください。



①

傷害事故防止のため、取扱説明書を読み理解して正しい取扱いをしてください。

最大積載重量	平地走行時： 80 kg
	坂道走行時： 50 kg

KD50 3604 000

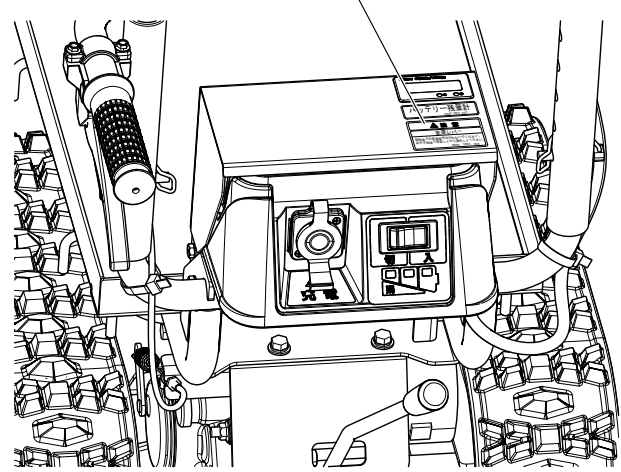
②

⚠ 注意

変速レバー

傾斜地での変速操作は行わないでください。
必ず平坦地で停車してから操作してください。

KD50 3605 000



③

運搬車用 24V鉛バッテリー
定格 24V / 容量 20Ah Pb 使用後は、販売店へ連絡してください。

⚠ 危険

火気厳禁。
水にぬらさない。
工具など金属製の物と同梱しない。
ソケットに金属を挿し込まない。
必ず専用充電器を使用し、分解・改造をしない。

⚠ 警告

バッテリーの取付、取外しの際は運搬車の主電源を「切」にする。
落としたりして亀裂・破損した場合は直ちに使用を中止する。
バッテリー液（希硫酸）が人体に付着しないよう注意する。
漏液し付着した場合は大量の水道水で洗い流し、医師の診断を受けてください。

⚠ 注意

40℃を超えるような環境に長時間放置・保管しない。
作業後はすぐに充電を行う、3カ月に1回、満充電にする。
不要になったバッテリーを、一般のゴミと一緒に捨てないでください。

充電口

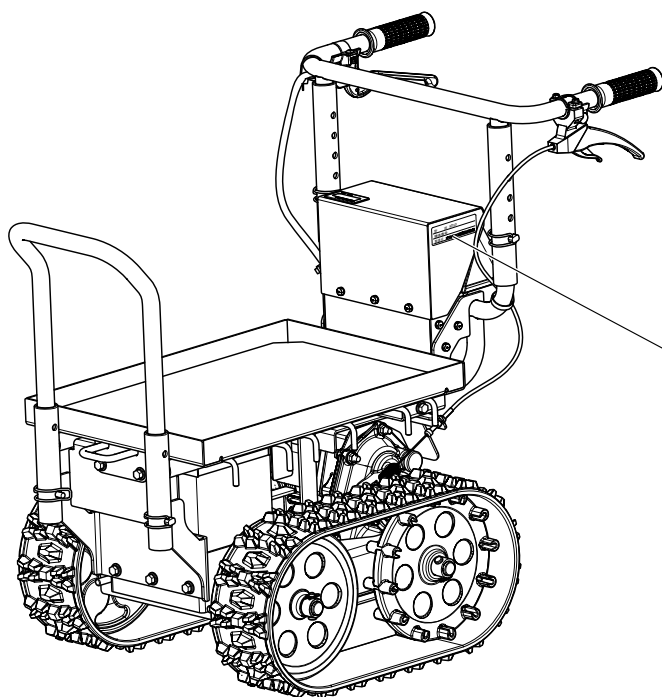
KD50 3608 000

No.	部品名称	部品番号	備考
①	ラベル（トリアツカイ）	KD50 3604 000	
②	ラベル（ヘンソク、チュウイ）	KD50 3605 000	
③	ラベル（バッテリー、チュウイ）	KD50 3608 000	

ご使用前に

1. 保証とサービスについて

- ・この機械には保証書が添付されていますので、ご使用前によくお読みください。
- ・この機械のサービスについてのお問い合わせや部品などのご用命のときは「お買いあげ先」にご相談ください。その際「型式名」・「機体番号（製造番号）」をお知らせください。



型 式 KD50

機体番号

製造元 **オカネツ工業株式会社**

・補修用部品の供給年限について

- ・この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給年限内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。

- ・補修用部品の供給は、原則的には、上記の供給年限で終了いたしますが、供給年限経過後であっても、部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

機械の使用目的について

- ・機械は、**運搬作業**にご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは行わないでください。
- ・機械を使用目的以外の作業に使用したり、改造したりした場合は保証の対象となりませんのでご注意ください。詳細は保証書をご覧ください。（保証書は、本書の最終ページにあります）



◆機械を使用目的以外の作業に使用しないでください。

◆機械を改造しないでください。改造すると本来の機能を発揮できないばかりか、人身事故の原因になることがあります。

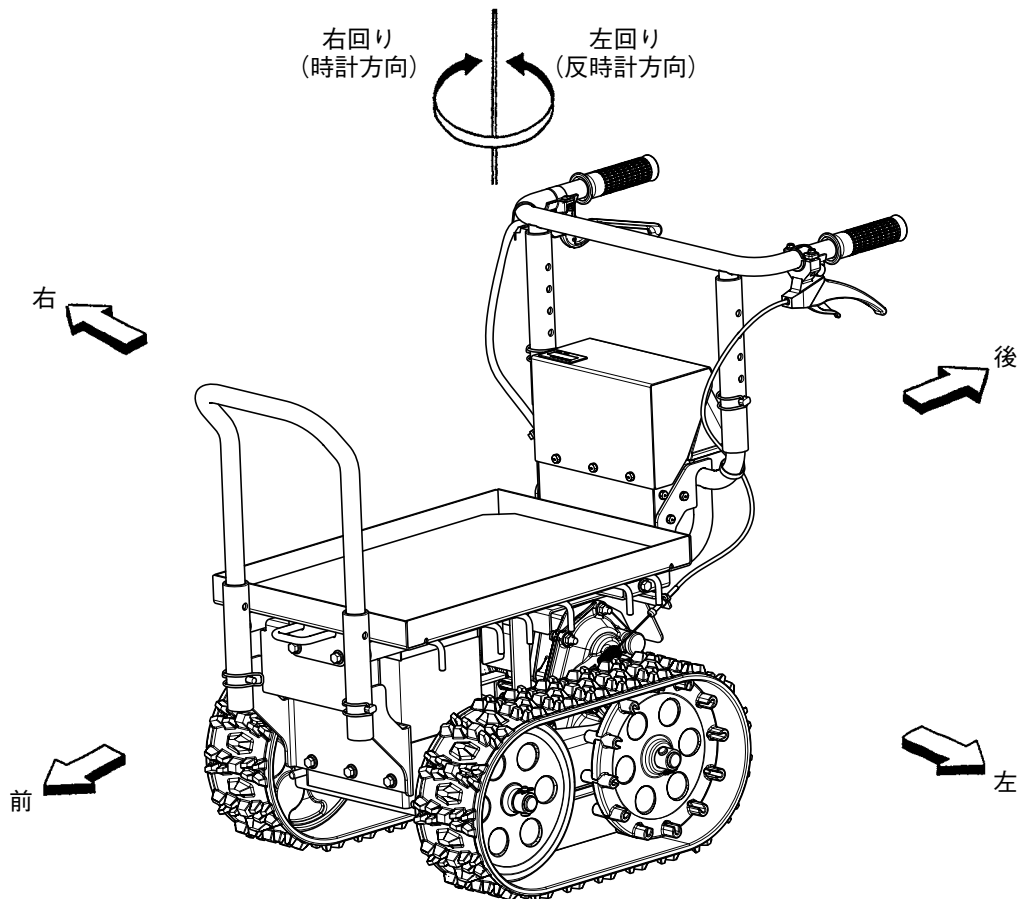
2. 仕様（装備）について

仕様 型式	駆 動	最大 積載量	走行形式	変 速	車 速		荷台 高さ
					前 進	後 進	
KD50	モータ 350W バッテリー 24V-20Ah	80kg（平地） 50kg（坂道） （最大傾斜角度20度）	ゴムクローラ	前進 1 段 後進 1 段	2.0km/h	1.5km/h	370mm

・ 詳細な仕様は17ページの「主要諸元」を参照ください。

3. 用語について

❶ この取扱説明書に使用している「前後・左右・右回り・左回り」などの用語は図示のように決めています。



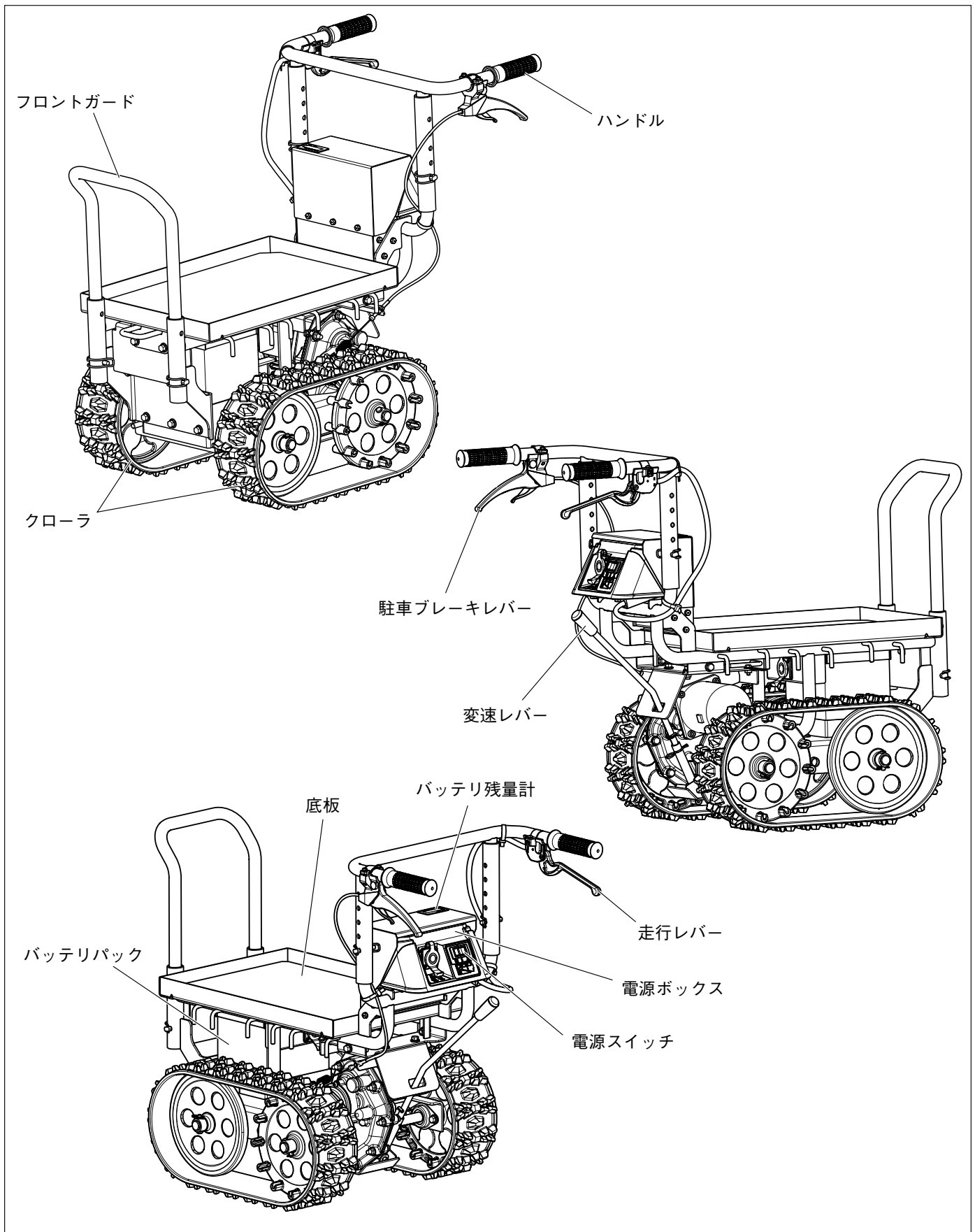
❷ マークの説明

この取扱説明書ではその都度守っていただきたい事柄を次のマークを使用して説明しています。

- ・ **⚠危険** **⚠警告** **⚠注意** ……安全上重要な事項を3段階に分けて説明していますので必ず読んでください。
- ・ **取扱いのポイント** ……機械の性能を最大限に発揮するための説明です。守らないと故障の原因になることもあります。

各部のはたらき

1. 各部の名称

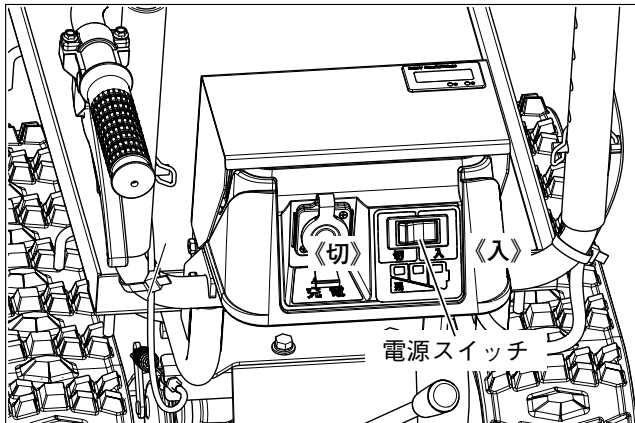


2. 運転装置の取扱い

1. 運転レバー関係

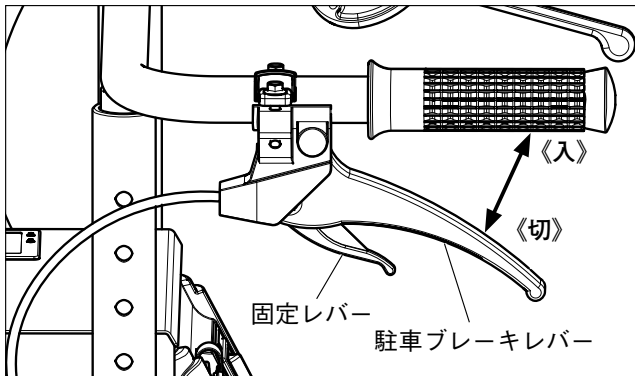
① 電源スイッチ

運搬作業するときに《入》にします。



② 駐車ブレーキレバー

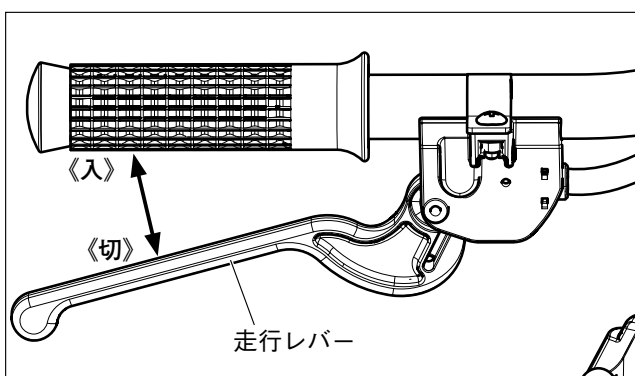
駐車するときに握ると、駐車ブレーキが《入》になります。駐車ブレーキを《入》にすると、走行レバーを握っても動きません。



駐車ブレーキを《切》にするときは、固定レバーを握ります。

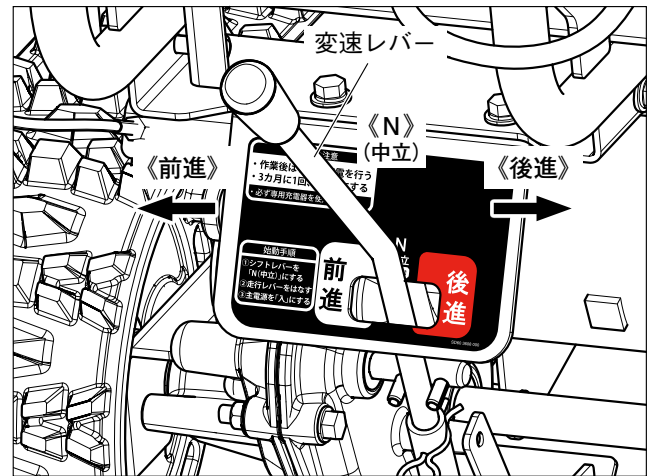
③ 走行レバー

運搬作業するときに握ります。



④ 変速レバー

前進、後進の切替えができます。



作業内容に適した変速にします。

変速レバー	適応運搬作業
前進	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬 ・トラックへの積込み
N (中立)	<ul style="list-style-type: none"> ・人力移動
後進	<ul style="list-style-type: none"> ・平坦な路面での方向変換 ・トラックからの積降ろし ・下りの急傾斜地での運搬

運転のしかた

1. 運転前の点検

安全作業のために毎日の運転前に「点検の項目」を参考に点検してください。

⚠警告 傷害事故防止のために

◆注油・点検するときには機械を平坦な場所に置き、電源を切ってから行なってください。

⚠危険 火傷や火災防止のために

◆電気配線が損傷していると、ショートや漏電で火災や損傷の原因となりますので、交換してください。

「点検の項目」

・運転するまえに

点 検 箇 所	項 目	処 置
ラベル	剥がれ、損傷がありませんか。	あれば「お買いあげ先」に交換の相談をしてください。
バッテリーパック	充電しましたか。	充電してから作業してください。
ケーブル、コネクタ	亀裂、損傷はありませんか。 接続されていますか。	あれば「お買いあげ先」に相談してください。 正しく接続してください。
ミッションケース	油もれはありませんか。	あれば「お買いあげ先」に相談してください。
モータ、バッテリーパックの周囲	ワラズなどのゴミが溜まっていますか。	あれば掃除してください。
ボルト、ナット	ゆるみはありませんか。 脱落はありませんか。	あれば締付けしてください。 新品を取付けしてください。
その他各部	損傷はありませんか。	あれば「お買いあげ先」に相談してください。

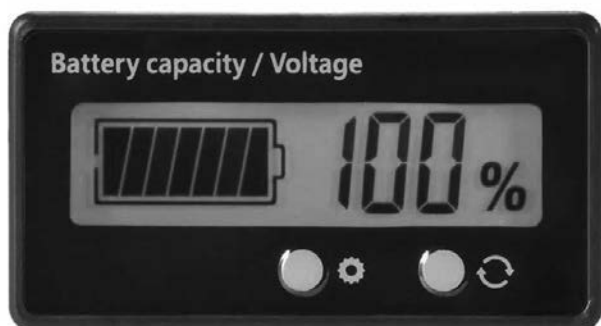
・運転して

点 検 箇 所	項 目	処 置
バッテリー残量計	残量 (%) が表示されていますか。	残量が20%以下の場合は充電してください。 充電しても残量 (%) が回復しない場合は「お買いあげ先」に相談してください。
走行レバー	走行レバーを握るとモータが回りますか。	異常の場合は「お買いあげ先」に相談してください。
駐車ブレーキレバー	駐車ブレーキレバーを握ると駐車ブレーキが《入》になりますか。	異常の場合は「お買いあげ先」に相談してください。
	固定レバーを握ると駐車ブレーキが《切》になりますか。	

2. バッテリ残量計

1. 残量 (%) 表示について

・バッテリーの残量を示す目安となります。



- ① 電源スイッチを《入》にするとバックライト（緑色）が点灯し、残量（%）が表示されます。
- ② 残量が20%以下の場合、すみやかにバッテリーを充電して下さい。

取扱いのポイント

- 残量が20%以下の場合、すみやかに充電してください。充電をしないと過放電となり充電できなくなります。

3. 発進・旋回・停車のしかた



警告 傷害事故防止のために

- ◆最大積載量以上の荷物は乗せないでください。
- ◆荷物が荷台から落ちないようにロープをかけてください。
- ◆傾斜地や路面の状況が悪い所では積載量を減らしてください。
- ◆周囲に障害物や人がいないことを確認し、ゆっくり発進してください。
- ◆等高線作業（傾斜地の横歩き）はしないでください。
- ◆傾斜地では機械を停止しないでください。

1. 発進のしかた

- ① 変速レバーを目的の位置にします。
- ② 駐車ブレーキレバーを解除します。
- ③ 走行レバーを握ると発進します。

2. 旋回のしかた

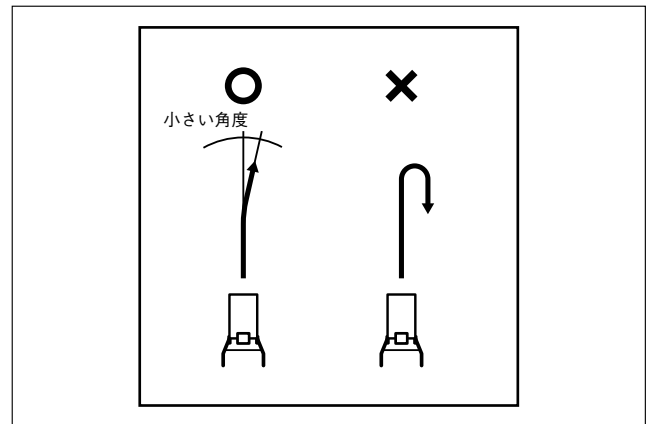
- ① 走行レバーを握ったままハンドルを「右」に操作すると機体は「左」に、またハンドルを「左」に操作すると機体は「右」に旋回します。

3. 停車のしかた

- ① 走行レバーを放すと、停止します。
- ② 駐車ブレーキレバーを《入》にし駐車ブレーキをかけます。

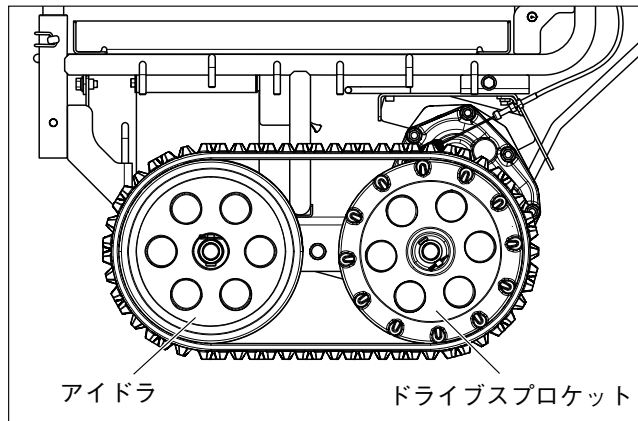
取扱いのポイント

- 変速レバーは平坦地で停止してから操作してください。レバーが入りにくいときは、機械を前後に少し動かすと入りやすくなります。
- 人力移動するときは電源スイッチを《切》にし、変速レバーをN（中立）にして、空荷で行ってください。
- 過負荷（過積載・急斜面・段差・クローラ部への小石のかみ込みなど）が加わると電源スイッチが作動して、モータが停止します。そのときは過負荷となる条件を取り除いてください。
- 砂利道のような、小石がたくさんある場所では、その場旋回のような小回りターンをしないでください。クローラ部に石が入り、クローラなどが損傷する恐れがあります。急なターンや半径の小さい蛇行運転はさけ、直進や小さい角度の方向転換の運転をするようにします。



- 湿田などの軟弱地で走行した後、クローラ部に泥やワラなどの異物が残っている場合には、水洗いなどで取り除いてください。

- 泥などが乾いて固まった場合には、走行中の土や泥がドライブsprocketから抜けなくなり、クローラの損傷の恐れがあります。使用後は、機械をきれいに清掃してください。

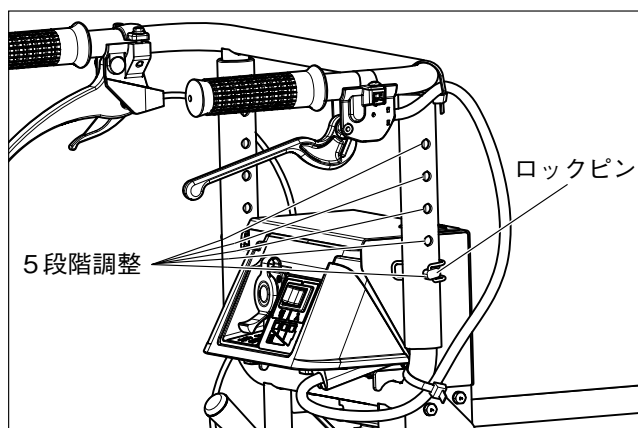


- 20°以上の傾斜地では使用しないでください。
- 傾斜地でのUターンはしないでください。
- 地面の凸凹はできるだけ避けてください。20cmまでの段差は乗り越すことが可能です。段差を乗り越すときは、段差に直角に走行して乗り越します。

4. ハンドル

1. ハンドルの高さ調整

- ・ハンドル高さを調整する場合は、ロックピンを外して調整します（5段階）。
- ・調整後は、ロックピンで確実にハンドルを固定してください。



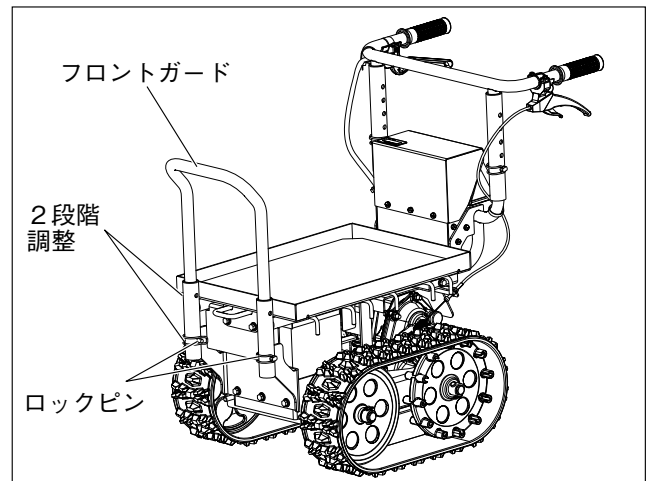
取扱いのポイント

- ハンドルの高さを調整するときは、機械を平坦な場所で停止し、電源スイッチを《切》にしてから行ってください。

5. フロントガード

1. フロントガードの高さ調整

- ・フロントガードの調整は、ロックピンを外して調整します(2段階)。
- ・調整後は、ロックピンで確実にフロントガードを固定してください。



取扱いのポイント

- フロントガードの高さを調整するときは、機械を平坦な場所で停止し、電源スイッチを《切》にしてから行ってください。
- フロントガードは、荷物の高さに合わせて調整できます（2段階）。

6. 自動車への積込み・積降ろし

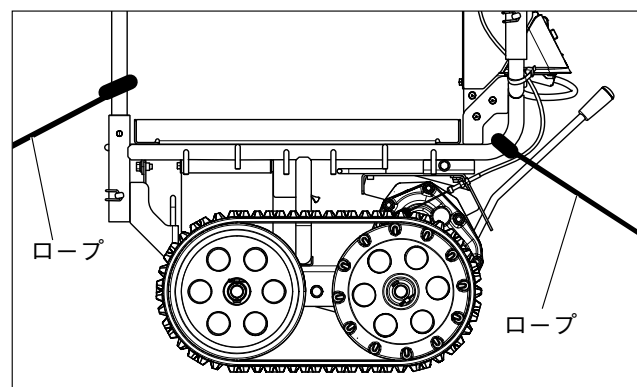
・自動車への積込み・積降ろしは、まわりに障害物のない平坦で硬い場所を選び、次のことを守って、慎重に行います。

⚠警告 傷害事故防止のために

- ◆自動車は荷台に天井のない車を使用してください。
- ◆道板が傾いたりしない平坦な場所を選んでください。
- ◆自動車は駐車ブレーキをかけ、エンジンを停止し、変速を後進「バック」(AT車の場合は「パーキング」)に入れ、タイヤに歯止めをしてください。
- ◆道板は機械の重量に耐える強度、幅（クローラが外れない幅）、長さ（荷台高さの4倍以上）のある、すべり止め、フック付きのものを使用してください。
- ◆道板のフックは段差のないように、またずれないように荷台に確実にかけてください。
- ◆積込みは前進で行い、積降ろしは後進で行います。

1. 機械の取扱い

- ① 変速レバーを《前進》位置にします。
- ② 走行レバーを握って、前進します。
- ③ 積込みは前進で、積降ろしは後進で行います。
- ④ 積込み後は、走行レバーを放し停止します。
- ⑤ 電源スイッチを《切》にします。
- ⑥ 駐車ブレーキレバーを握って、駐車ブレーキを《入》にします。
- ⑦ 変速レバーは《前進》位置に入れたままでフロントガードと後部のフレームにロープで固定します。



手入れのしかた

⚠警告 傷害事故防止のために

- ◆点検・整備・掃除をするときは機械を平坦な場所に置き、電源スイッチを《切》にしてミッションケース、モータなどが十分冷えてから、行なってください。
守らないと傷害事故を引き起こすことがあります。
- ◆点検・整備時はバッテリーコードのコネクタ部を針金などの金属で接続、直接接触しないでください。
故障・感電の恐れがあります。
- ◆洗車をするときは、バッテリーパック、電源ボックスなどの電気部品には水をかけないでください。

取扱いのポイント

- 洗車するときは、シール・ラベルに水をかけないでください。

1. 定期点検整備表

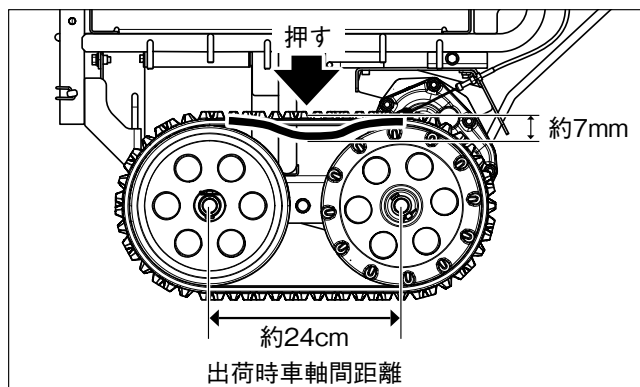
・機械をいつも調子よく、安全に使用するためには定期点検により機械の状態を知っておくことが大切です。

○：点検

分類	項目	内容	初期点検	作業前	1年毎	2年毎	参照ページ
本機	電源スイッチの作動	点検	○	○	○		4
	バッテリー残量の確認	点検	○	○	○		6
	油もれ	点検			○		5
	走行レバーの作動	点検	○	○	○		4
	駐車ブレーキレバーの作動	点検	○	○	○		4
	変速レバーの作動	点検	○	○	○		4, 11, 12
	ラベルの損傷・はがれ	点検			○		安-11
	ボルト・ナットの脱落・ゆるみ	点検		○	○		5
	クローラ	点検・調整			○		7, 8, 11
	駐車ブレーキワイヤ	調整			○		11, 12
	コード類の損傷	点検		○	○		5, 13
充電器	電源コードの損傷	点検		○	○		5, 13, 14
	表示ランプの点灯	点検		○	○		14
バッテリーパック	傷・割れ・変形	点検		○	○		安-9
	コード類の損傷	点検		○	○		13~16

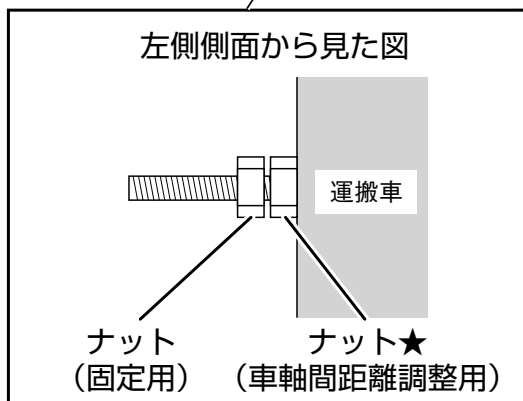
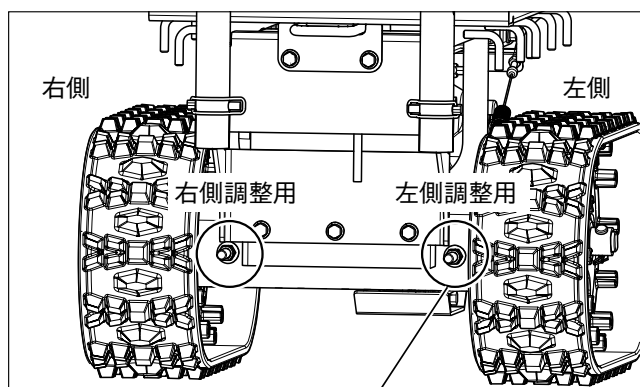
2. クローラの点検と調整

・クローラの張りがたるんでいたら車軸間距離を調整（次項「車軸距離の調整」参照）し、手で押したとき（約50N・約5kgf）に約7mm下がる程度の張りを保ってください。



車軸間距離の調整

- ① 正面のナット（固定用）を工具（ラチェットレンチなど・14mm）で緩めます。



- ② ナット★を回し、車軸間を調整します。

ナット★を締める	車軸間が広がる＝クローラの張りが強くなる
ナット★を緩める	車軸間が狭まる＝クローラの張りが弱くなる

- ③ ナット（固定用）を元通り締めて固定します。

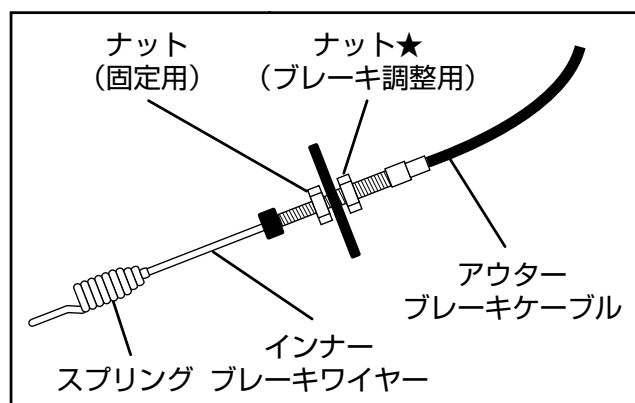
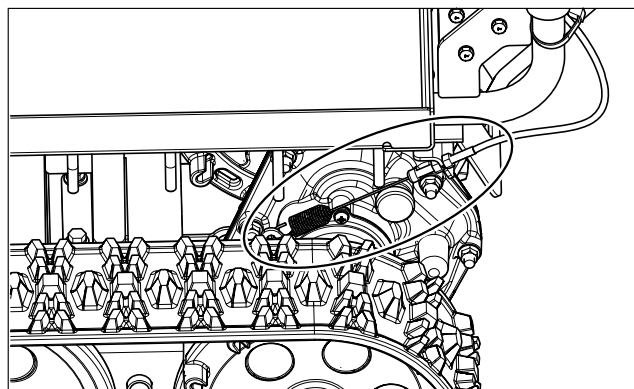
⚠注意 傷害事故防止のために

◆強く締めすぎないでください。部品が破損するおそれがあります。

3. 駐車ブレーキの調整

・ブレーキが弱すぎる、または強すぎる時は調整してください。

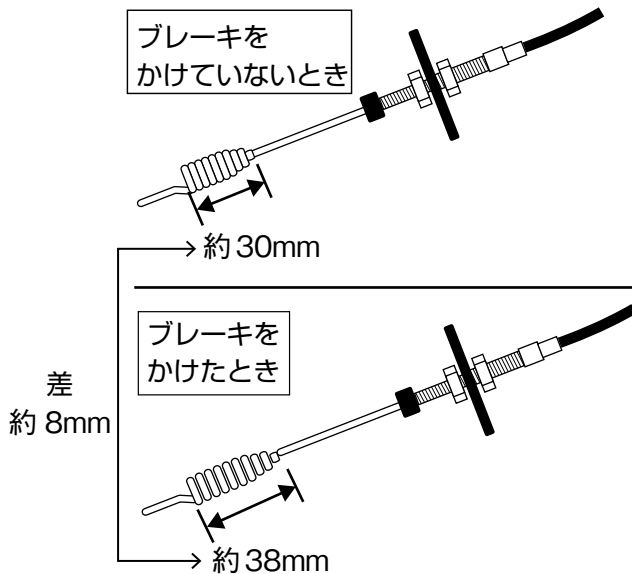
- ① ナット（固定用）を工具（スパナなど・10mm）で緩めます。



- ② ナット★の位置を調整し、ブレーキをかけていないときとかけたときのスプリングの差が8mm程度になるようにします。

取扱いのポイント

- ブレーキをかけていないとき、ブレーキワイヤに遊びがある程度に調整してください。(張ってないこと)



- ③ ナット（固定用）を締めて固定します。

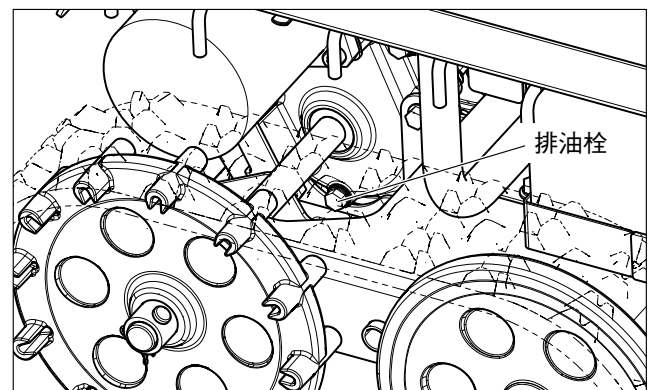
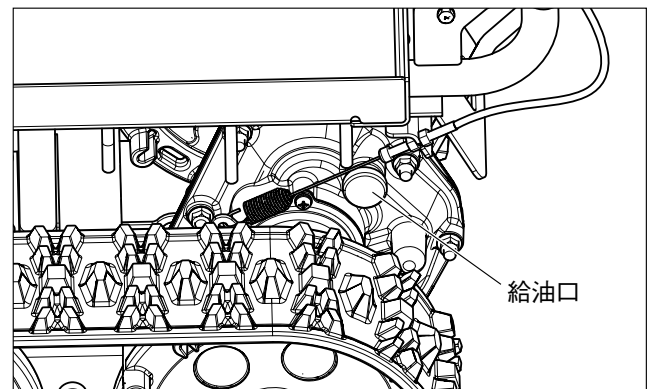
4. 給油・給脂箇所

⚠危険 火災や傷害事故防止のために

- ◆給油・給脂・点検するときは、機械を平坦な場所に置き、電源スイッチを《切》にしてから行なってください。
- ◆回転部・摺動部から異音がするときは、電源を切ってから注油してください。
- ◆オイル交換時などオイル取扱時には、タバコを吸ったり、炎や火花などの火気を近づけないでください。オイルは必ず電源スイッチを《切》の位置にしてから補給してください。オイルへの引火や火災の原因となります。
- ◆オイルがこぼれた場合は、綺麗に拭き取り、乾かしてから始動してください。拭き取った布切れなどは、火災と環境に十分に注意して処分してください。

① ミッションケースのオイル交換

- ケース下部の排油栓を外しオイルを抜きます。排油栓を取付けた後、給油口から新しいギヤオイルを規定量給油します。
- オイル……ギヤオイル
API・GL-3級または4級
SAE：80W
- オイル量……約0.5L
- 2年ごとに交換



⚠警告 火災や傷害事故防止のために

- ◆オイルなどの油脂類の廃液は、法令（公害防止条例）に従って適切に処理してください。不明な場合はオイルをお買い上げになった「お買いあげ先」にご相談ください。

取扱いのポイント

- オイル量は規定量を守ってください。守らないとシフトチェンジが行いにくくなるなどの原因となります。

5. 電気配線の点検と掃除

⚠警告 火傷や火災防止のために

- ◆電気配線が損傷しているとショートや漏電で火災や損傷の原因となる恐れがありますので交換してください。
- ◆モータ、バッテリー電気配線回りのワラクスなどを取除いてください。火災の原因になることがあります。

① 電気配線の点検

配線の端子部の「緩み」や「接続不良」、または配線が「損傷」していると電気部品の性能を損なうだけでなく「ショート（短絡）」などを行うことがあります。

緩んだ配線は交換、修理します。

② 電気配線の掃除

モータ、バッテリー、電気配線回りにたまっている「ワラやゴミ」などは「火災」の原因になりますので取除きます。

6. バッテリーパックの充電と取扱い

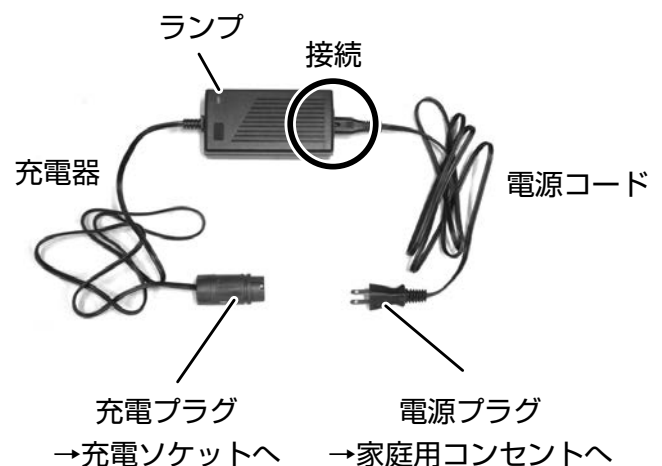
(作業前にバッテリーパックを充電してください。)

⚠警告 火傷、火災、傷害事故防止のために

- ◆バッテリーパックの充電は指定の充電器を使用し、雨や直射日光のあたらない屋内の換気のよい場所で行ってください。
 - ◆バッテリーパック、充電器は水に濡らさないでください。また、濡れた手や濡れた電源コードで充電しないでください。
 - ◆指定以外の充電器を使用して充電すると重大な事故を引き起こす恐れがあります。また、バッテリーの交換時期が早まったり、破損します。
 - ◆充電完了後は充電器を長時間接続したままにしないでください。
- *上記を守らないと火災・感電および故障の恐れがあります。

バッテリーを運搬車に取付けたまま充電する場合

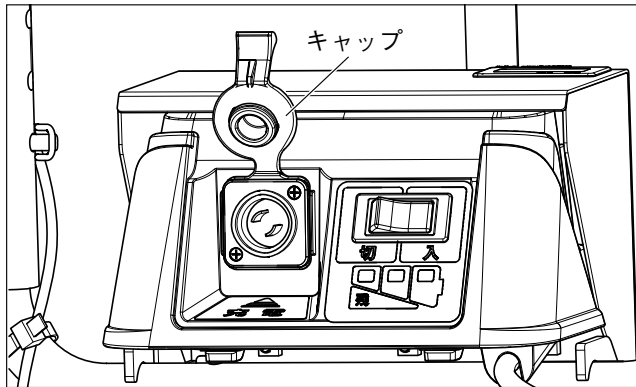
- ① 運搬車の主電源スイッチを「切」にする。
- ② 充電器と電源コードを接続し、電源プラグを家庭用AC100Vコンセントに差し込む。



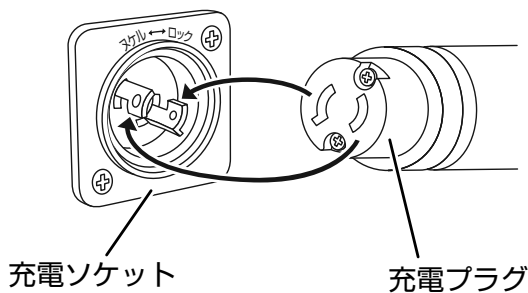
⚠注意 火災や傷害事故防止のために

◆昇圧機、直流電源、発電機は使用しないでください。

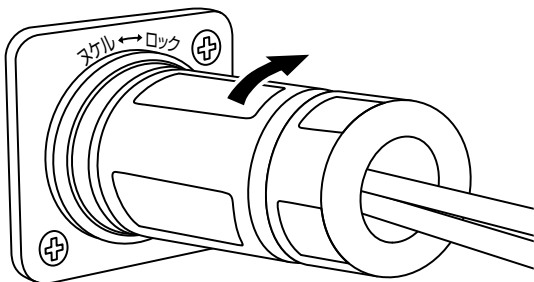
③ 充電ソケットのキャップを外します。



④ 充電ソケットと充電プラグの形状を合わせて差し込みます。



⑤ 充電プラグを時計回りに止まるまで回して固定します。充電器のランプが赤点灯（充電中）になることを確認してください。



充電器のランプの見かた

ランプ	状態
赤点灯	充電中
緑点灯	充電完了および コンセント差し込み時（バッテリー無）
赤点滅	充電異常 ①充電器温度が高い ⇒充電器の電源プラグをコンセントから抜き、冷ましてから再度充電してください。 ②バッテリーの過放電による（3ヶ月に1回の充電を行わなかった場合など）著しい消耗 ⇒バッテリーを一旦充電器から外し、24時間放置後再度充電を行ってください。 ⇒①、②を試しても赤点滅の場合、確認させていただきますので「 お問い合わせ先 」にご相談ください。
	その他の異常（バッテリーの寿命による著しい消耗など） ・充電を中止し、「 お問い合わせ先 」にご相談ください。
緑点滅	診断中（最長30分程度） ・そのままお待ちください。

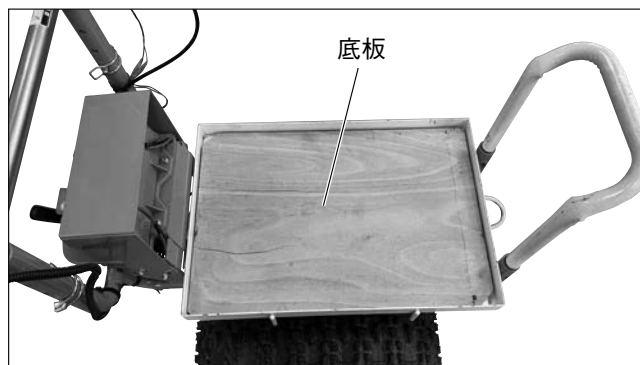
⑥ 充電器の充電ランプが緑色に点灯すれば充電完了です。充電完了後はすぐに（24時間以内）充電器を取外してください。充電プラグを反時計回りに止まるまで回してから引き抜き、充電ソケットのキャップを閉じてください。

取扱いのポイント

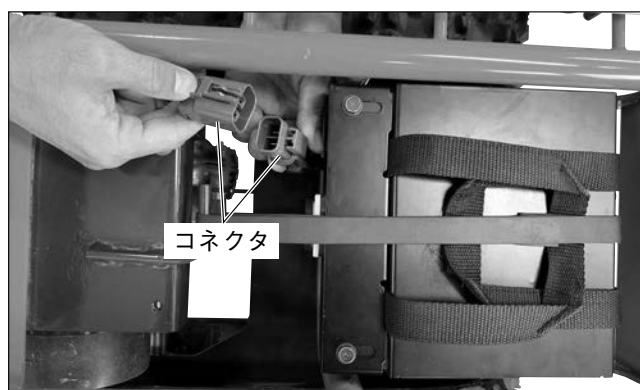
- 充電を始めてから完了するまでの目安は12時間です。高温環境では充電時間が長くなることがあります。
- 0℃以下で充電した場合、満充電でも運転時間が短くなります。充電はなるべく暖かい場所で行ってください。
- バッテリー残量が残っている場合でも、充電可能です。（継ぎ足し充電可能）

バッテリーパックを運搬車から取外して充電する場合

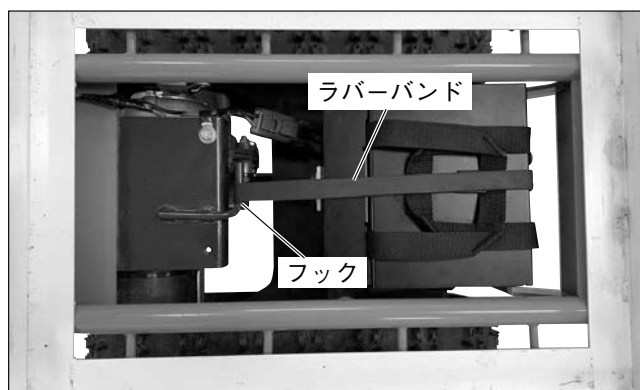
- ① 運搬車の電源スイッチを《切》にします。
- ② 底板を外します。



- ③ バッテリとの接続コネクタを外します。



- ④ ラバーバンドをフックから外します。



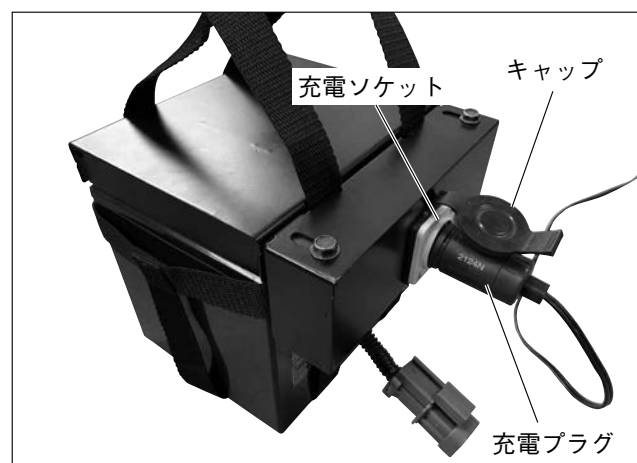
- ⑤ バッテリキャリアベルトを使用して、バッテリーを取り外します。



⚠注意 傷害事故防止のために

- ◆バッテリーは約12.5kgです。取外すときは腰を痛めたり、足の上に落とすなどしてけがをしないよう注意してください。
- ◆バッテリーは雨や雪に濡れないよう注意してください。

- ⑥ 充電ソケットのキャップを外し、充電ソケットと充電プラグの形状を合わせて充電プラグを差し込み、時計回りに止まるまで回して固定します。



充電が終わったら

- ① 充電プラグを反時計回りに止まるまで回してから引き抜き、充電ソケットのキャップを閉じます。
- ② 充電器の電源プラグをコンセントから外します。

■バッテリーを運搬車に取付けたまま充電した場合
充電器は子どもの手の届かない冷暗所で保管してください。

■バッテリーを運搬車から取外して充電した場合

- ・続けて運搬車を使用する場合
バッテリーをもとどおりに設置し、ラバーバンドで固定してください。バッテリー接続コネクタを接続し、底板を取り付けます。
- ・保管する場合
バッテリーや充電器は子どもの手の届かない冷暗所で保管してください。

⚠警告 傷害事故防止のために

- ◆満充電にしても運転時間が著しく短くなったと感じるときは、バッテリーの交換についてお買い求めの「お買いあげ先」とご相談ください。そのまま継続使用すると、バッテリー内部のショートや電槽の破損などが発生し、バッテリー液の漏液、破裂、発火などの原因になるおそれがあります。
- ◆損傷や変形した電源コードや電源プラグを使用しないでください。感電、ショート、発火の原因になる恐れがあります。
- ◆発熱、破損および感電のおそれがありますので、プラグの抜き差しは確実に行ってください。
- ◆屋外で延長コードなどを使う場合は、水や雪がかからないよう注意してください。感電の原因になるおそれがあります。
- ◆子どもやペットが触れない場所で行ってください。
- ◆バッテリーを長期間保管する場合は、以下の場所には置かないでください。
 - ・火気の近く
 - ・高温になる場所
 - ・粉じんの多い場所

7. バッテリーパックの交換

⚠危険 傷害事故防止のために

- ◆本機のバッテリーパックは専用品です。機械保護のために、内部にヒューズが組み込まれていますので指定品以外は使用しないでください。
- ◆バッテリーパックを無理に分解したり破損したものは使用出来ません。
- ◆スペアとして使用する場合や交換する場合は「お買いあげ先」に相談してください。
*上記を守らないと、機械が破損したり重大な傷害事故を引き起こす恐れがあります。

① 交換時期

バッテリーパックは交換が必要です。バッテリーパックの交換時期は使用状況や充電の仕方によって異なります。1回の充電あたりの使用時間が著しく短くなり、回復の兆しがなければ交換時期です。(バッテリーパックの交換は有料です。)

バッテリーパックの交換時期は使用状況・環境・保管状況などで異なります。

② 交換

「お買いあげ先」に相談してください。

8. 長期格納のしかた

警告 火災や傷害事故防止のために

- ◆回転部に付着した泥・ゴミ・ワラズを取除くときは、モータを停止し、各部の回転が停止してから行ってください。
- ◆モータ・バッテリー周囲のワラズを取除いてください。火災の原因になることがあります。
- ◆取外したカバー類はすべて取付けてください。
- ◆洗車するときは、バッテリーパックを取り外して、コネクタケーブル、電源ボックスなどの電気部品には水をかけないでください。故障の原因となります。
- ◆高圧洗浄機は本機を破損・損傷させることがありますので使用しないでください。

・機械を長い間使用しないときは、格納前に下記を行なってください。

- ① 機械はきれいに掃除してください。
- ② 不具合箇所は整備してください。
- ③ バッテリーパックを機体より取り外してください。
バッテリーパックは室内の涼しく、風通しのよい場所に保管してください。
バッテリーを長持ちさせるため、格納前に満充電してください。
- ④ 屋内で安定した水平な場所に格納してください。
- ⑤ 雨にあたらない、湿度の少ない直射日光の当たらない場所に格納してください。
- ⑥ 長い間使用しない場合でも、バッテリーパックは3ヶ月に1回は充電をしてください。

取扱いのポイント

- バッテリーは40℃以上の環境では自然放電しやすくなりますので、1か月に数回の追充電を行ってください。
- 洗車をするときは、シール・ラベルに水をかけないでください。

9. 長期格納後に使用するとき

- ・作業前点検を必ず確実に行ってください。
- ・必ずバッテリーパックを充電してから使用してください。

不調時の処置

- ・不調が発生したら、すぐにその原因を調べて処置をし、故障を大きくしないようにします。
- ・原因がわからない場合や、調整しても再発するときは「お買いあげ先」に相談し、点検を受けてください。
- ・そのときは不調の状況とあわせて「機体番号(製造番号)」をお知らせください。

⚠警告 火傷や傷害事故防止のために

- ◆作業中に不調が発生した場合は機械を広い平坦な場所で停車し、モータを止め、各部の動きが止まってから行なってください。
- ◆モータ回りの点検・整備は、モータが冷えてから行なってください。
- ◆取外したカバーはすべて取付けてから始動してください。

1. 一覧表

下記の処置をしても直らないときは「お買いあげ先」に相談してください。

不調の状況	原因	処置	参照ページ
モータが始動しない	①電源スイッチが《入》になっていませんか？	・電源スイッチを《入》にしてください。	4
	②駐車ブレーキが《入》になっていませんか？	・駐車ブレーキを《切》にしてください。	4
	③バッテリーケーブル、コネクタは正しく接続されていますか？	・バッテリーケーブル、コネクタを接続し直してください。	13~16
	④バッテリーパックは充電されていますか？	・バッテリーパックを充電してください。	13~16
	⑤電源ボックス、ケーブルの故障	・「お買いあげ先」に相談してください。	—
	⑥ヒューズが切れた	・ヒューズを交換してください。	20
機械が発進しない	①運転レバーの故障	・「お買いあげ先」に相談してください。	—
	②モータの故障	・「お買いあげ先」に相談してください。	—
	③電源スイッチのブレーカが作動して、電源スイッチが《切》になっていませんか？	・過負荷を取り除いてください。(過積載, 急傾斜・段差・クローラへの石のかみ込みなど) 過負荷を取り除いた後、電源スイッチを《入》にしてください。	7, 8
	④変速レバーが《N (中立)》になっていませんか？	・目的にあった変速位置にしてください。	4

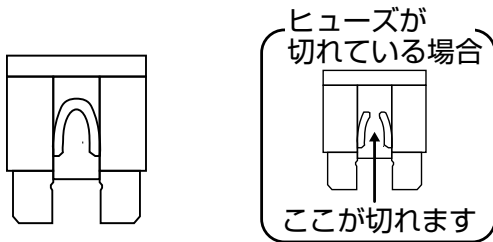
不調の状況	原因	処置	参照ページ
機械が突然停止した	①クローラに石などの異物がかみ込んでいませんか？	・電源スイッチを《切》にして、異物を取り除いてください。	7, 8
	②ヒューズブレーカが切れた	・機械保護のため、大きな力が機械に加わるとヒューズが切れる構造です。 ヒューズを交換してください。	20
	③バッテリーパックは充電されていますか？	・バッテリーパックを充電してください。	13~16
モータが止まらない	①電源スイッチ、ケーブルの故障	・電源スイッチを《切》にしてモータを止めてください。 「お買いあげ先」に相談してください。	—
	②走行レバーが故障していませんか。	・電源スイッチを《切》にしてモータを止めてください。 「お買いあげ先」に相談してください。	5
充電ができない（充電器表示ランプが緑色のままで赤色に点灯しない）	①電源プラグは正しく接続されていますか？	・正しく接続し直してください。	13~16
	②バッテリーの寿命がきていませんか？	・新品のバッテリーパックに交換してください。	16
	③バッテリーパックのヒューズが切れていませんか？ または、差込が十分ですか？	・バッテリーパックのヒューズを確認してください。	20
充電器表示ランプが緑・赤色ともに点灯しない	①充電器の故障です。	・「お買いあげ先」に相談してください。	—
駐車ブレーキが効かない	①駐車ブレーキの効きが弱い	・駐車ブレーキの調整を行ってください。	11, 12

2. ヒューズの交換

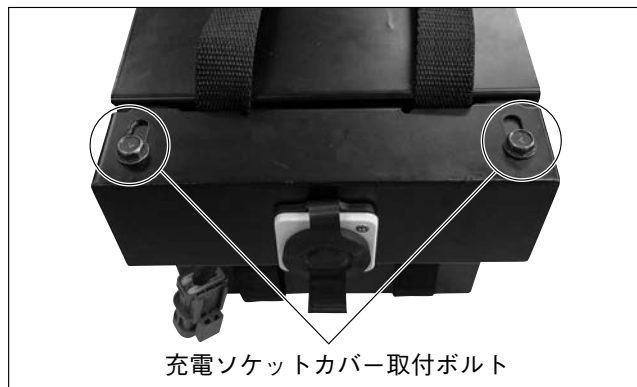
・バッテリーから大きな電流が流れるなど、過負荷がかかった場合、ヒューズが切れることがあります。その場合、ヒューズを交換してください。

*ヒューズを交換しても直らない場合は、「お買いあげ先」に相談してください。

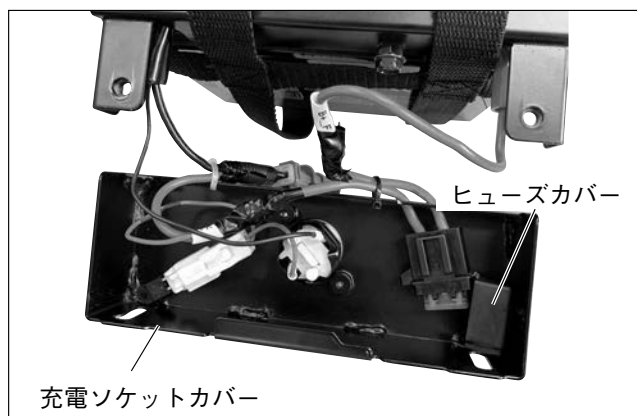
■ 運搬車用 40A ヒューズ



- ① 電源スイッチを《切》にします。
- ② 底板を外してバッテリーを取り外します。(15ページ参照)
- ③ 充電ソケットカバー取り付けボルトを外して充電ソケットカバーを外します。



- ④ ヒューズカバーを開けて新しいものと交換します。



付 表

1. 諸元

型 式 名		KD50	備 考
機 体 寸 法	全 長 (mm)	985	
	全 幅 (mm)	530	ハンドルのレバー固定部
	全 高 (mm)	780, 810, 840, 870, 900	ハンドルグリップ上側
	質 量 (重量) (kg)	59 (バッテリーパック: 12.5kg)	
荷 台 寸 法	長 さ (mm)	520	内寸
	幅 (mm)	360	内寸
	高 さ (mm)	370	
モ ー タ	定 格 出 力 (W)	350	
	無負荷最高回転数 (rpm)	2250 ± 225	
バ ッ テ リ	種 類	密閉式鉛蓄電池	
	容 量	24V × 20Ah	
走 行 部	変 速 段 数 (段)	前進1段, 後進1段	
	走 行 速 度 (km/h)	前進: 2.0, 後進: 1.5	注1
	登 坂 角 度 (度)	0~20	
	走 行 輪 (mm)	ゴムクローラ (幅120)	
	最 大 積 載 量 (kg)	80 (平地), 50 (坂道)	注2, 注3
	運 転 操 作 方 式	デッドマンレバー式	
充 電 器	使 用 電 源	入力: AC100V	
	充 電 時 間 (h)	約12	バッテリー残量により異なる

*この諸元は、改良のため予告なく変更することがあります。

注1) 積載量や路地状態によって異なります。

注2) 登坂角度や路地状態によって異なります。

注3) 最大傾斜角度20度

2. 標準付属品一覧

品 名	数量	備 考
取扱説明書	1	
保証書	1	取扱説明書の最終ページに印刷してあります
ヒューズ (40A)	1	
充電器	1	

3. 消耗部品一覧

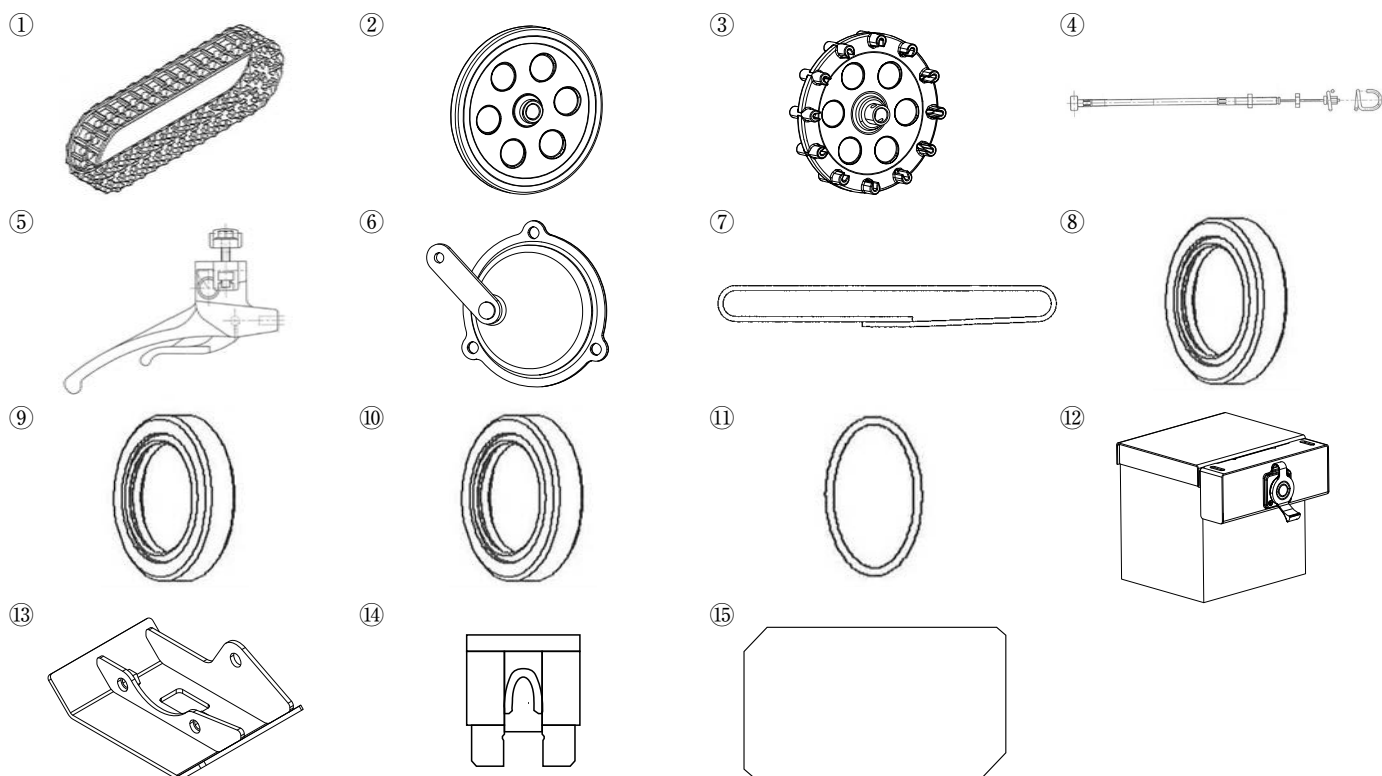
*純正部品を使用してください。

市販類似品をご使用になりますと、機械の不調・故障・寿命を短くする原因になります。

*純正アタッチメントを使用してください。

市販類似品をご使用になりますと、作業効率の低下や機械の不調・故障・寿命を短くする原因になります。

*ご用命のときは、「部品名称」・「部品番号」・数量を「お買いあげ先」にお知らせください。



No.	品番	品名	数量 / 台	備考
①	KD50 1812 000	ゴムクローラ	2	
②	KD50 1808 000	アイドラ	2	
③	KD50 1816 000	ドライブsproケット	2	
④	KD50 2101 000	ワイヤー (ブレーキ)	1	
⑤	KD50 2103 000	駐車ブレーキレバー	1	
⑥	1333 1701 001	ブレーキアッシ	1	
⑦	SD60 1705 000	ラバーバンド	1	
⑧	0840 1020 328	オイルシール	3	入力軸に1個, 出力軸に2個使用
⑨	0840 1015 257	オイルシール	1	ブレーキアッシ軸に使用
⑩	0840 1012 227	オイルシール	1	シフター軸に使用
⑪	0830 0500 120	Oリング	1	モーター軸に使用
⑫	KD50 0538 000	バッテリーパック	1	
⑬	KD50 1514 000	フレーム (アンダー)	1	
⑭	KD50 0521 000	ヒューズ (40A)	1	
⑮	KD50 3105 000	底板	1	